

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社ドラフト 上場取引所 東
 コード番号 5070 URL https://draft.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山下 泰樹
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 (氏名) 熊川 久貴 TEL 03-5412-1001
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,905	25.8	△96	—	△112	—	△112	—
2022年12月期第2四半期	3,103	△12.6	△100	—	△113	—	△99	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △99百万円 (—%) 2022年12月期第2四半期 △96百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△11.21	—
2022年12月期第2四半期	△9.93	—

(注) 2022年12月期第2四半期及び2023年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2023年12月期第2四半期	5,261		2,849		53.8
2022年12月期	5,724		2,994		52.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 2,831百万円 2022年12月期 2,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年12月期	—	0.00			
2023年12月期（予想）			—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	26.7	780	619.7	750	756.2	450	—	44.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	10,040,700株	2022年12月期	10,040,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	一株	2022年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	10,040,356株	2022年12月期2Q	10,038,469株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その記載内容を当社として保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、ウクライナ情勢や為替変動の影響による原材料を中心とする物価高の影響はあるものの、5月8日をもって新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、各企業の経済活動活発化はもとより、個人の活動も含めた社会全体の活性化もかなりのスピードで進展し、経済全体の回復基調は明確なものとなりつつあります。

当社グループでは、こうした中、2021年10月に公表した中期経営計画において当社グループのプロジェクトを「レギュラープロジェクト(注1)」「プロポーザルプロジェクト(注2)」「リーディングプロジェクト(注3)」の3つに分類し、「レギュラープロジェクト」を収益基盤としつつ、独自組織として設置している「山下泰樹建築デザイン研究所」を中心に「プロポーザルプロジェクト」「リーディングプロジェクト」で新たな事業の形、新たなデザインの価値を自ら創出する取り組みを推進してきました。

これらの活動をベースとする当社グループが提供するデザインへのニーズは、企業の経済活動活発化ならびに社会全体の活性化とシンクロしていく中で顕在化とその具現化が進展し、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,905,230千円(前年同期比125.8%)と好調に推移しました。内訳としては従来からの主戦場である「オフィス」領域が1,771,081千円(前年同期比81.2%)、「商業施設・都市開発・環境設計・その他」領域が2,134,148千円(前年同期比231.2%)となっており、当社グループの収益ルートはより多様なものとなっています。

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、DAFT about DRAFTのミラノサローネ等大型展示会への出展費用や旧オフィス二重家賃等のオフィス移転関連費用、陣容拡大に伴う人件費増などが計画通りに発生しておりますが、売上高が計画を上回ったことにより、営業利益は計画よりも良化した96,429千円の損失(前年同期比4,451千円の良化)となりました。ここに、為替差損等による営業外損失が加わり、経常利益は112,439千円の損失(前年同期比1,223千円の良化)、オフィス移転に伴う固定資産除却損を特別損失として加味したうえでの、親会社株主に帰属する当期純利益は112,571千円の損失(前年同期比12,853千円の拡大)となりました。

※ 用語解説

- (注) 1. 「レギュラープロジェクト」は、クライアントからの依頼により獲得する受注型プロジェクトで、高い評価を得ているオフィスデザイン等、当社グループの業績の基盤を形成しております。
2. 「プロポーザルプロジェクト」は、「レギュラープロジェクト」と「リーディングプロジェクト」の中間に位置し、当社グループが自ら企画・提案し、場合によっては先行投資を行うプロジェクトで、受注型とは異なる収益モデルを実現いたします。
3. 「リーディングプロジェクト」は、大規模な建築コンペティションや設計競技を通して挑戦するプロジェクトで、新たなデザイン領域を開拓し、当社グループの設計技術及びブランド価値を向上させる取り組みです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,261,369千円となり、前連結会計年度末と比較して463,563千円減少いたしました。これは、主に売掛金及び契約資産が482,356千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,411,947千円となり、前連結会計年度末と比較して318,262千円減少いたしました。これは、主に長期借入金392,119千円増加した一方、買掛金が381,584千円、短期借入金が300,000千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,849,421千円となり、前連結会計年度末と比較して145,301千円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失112,571千円を計上したこと及び配当金の支払い50,200千円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて26,524千円増加し、1,522,159千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は213,274千円（前第2四半期連結累計期間は761,666千円の使用）となりました。これは、主に売上債権の減少額491,002千円、仕入債務の減少額381,584千円及び法人税等の還付額150,240千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は445,993千円（前第2四半期連結累計期間は224,600千円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産取得による支出539,361千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は257,884千円（前第2四半期連結累計期間は187,912千円の獲得）となりました。これは、主に長期借入れによる収入750,000千円、短期借入金の減少額300,000千円及び長期借入金の返済による支出139,889千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

いわゆるコロナ禍からの回復基調が鮮明となってくる中、高いデザイン性・企画力を有する当社グループのデザイン事業への需要は、短期的な拡大はもちろんながら、中長期的なプロジェクトとしての拡大も重なり、期初想定よりも高い水準となっています。事業としては好調に推移していることから、売上高については、当初予想を上回る着地となる見込みです。

この売上高の拡大見込みに加えて、デザイン・設計単独プロジェクトなど利益率の高い案件獲得が進み、売上総利益も計画を上回る見通しであること、販売費及び一般管理費が概ね計画通りとなる見通しであることから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はともに前回発表予想を大幅に上回る見通しとなりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,534,440	1,560,964
売掛金及び契約資産	2,179,706	1,697,350
商品	63,431	74,525
原材料及び貯蔵品	74,603	61,655
仕掛品	42,816	98,527
その他	363,416	356,840
流動資産合計	4,258,415	3,849,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	601,098	510,362
減価償却累計額	△174,452	△69,890
建物及び構築物 (純額)	426,645	440,471
その他	299,014	352,315
減価償却累計額	△108,013	△113,235
その他 (純額)	191,000	239,079
有形固定資産合計	617,645	679,551
無形固定資産		
のれん	210,036	177,723
ソフトウェア	25,025	23,613
ソフトウェア仮勘定	42,108	44,990
無形固定資産合計	277,170	246,326
投資その他の資産		
敷金及び保証金	480,197	352,564
繰延税金資産	37,276	72,894
その他	54,228	60,166
投資その他の資産合計	571,701	485,626
固定資産合計	1,466,517	1,411,505
資産合計	5,724,932	5,261,369

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,159,181	777,597
短期借入金	550,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	123,336	341,328
未払法人税等	8,988	15,442
工事損失引当金	—	6,389
完成工事補償引当金	8,000	7,000
その他	597,655	339,021
流動負債合計	2,447,161	1,736,779
固定負債		
長期借入金	283,049	675,168
固定負債合計	283,049	675,168
負債合計	2,730,210	2,411,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	807,061	807,154
資本剰余金	787,061	787,154
利益剰余金	1,373,846	1,211,075
株主資本合計	2,967,968	2,805,383
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,848	25,998
その他の包括利益累計額合計	11,848	25,998
新株予約権	14,905	18,040
純資産合計	2,994,722	2,849,421
負債純資産合計	5,724,932	5,261,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,103,577	3,905,230
売上原価	2,196,364	2,633,956
売上総利益	907,212	1,271,273
販売費及び一般管理費	1,008,093	1,367,703
営業損失(△)	△100,880	△96,429
営業外収益		
受取利息	11	6
保険解約返戻金	1,233	1,434
還付加算金	—	995
その他	568	1,852
営業外収益合計	1,813	4,288
営業外費用		
支払利息	6,266	7,278
支払手数料	3,104	2,212
為替差損	5,224	10,806
営業外費用合計	14,596	20,298
経常損失(△)	△113,662	△112,439
特別損失		
固定資産除却損	—	26,653
特別損失合計	—	26,653
税金等調整前四半期純損失(△)	△113,662	△139,092
法人税、住民税及び事業税	1,615	9,096
法人税等調整額	△15,561	△35,618
法人税等合計	△13,945	△26,521
四半期純損失(△)	△99,717	△112,571
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△99,717	△112,571

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△99,717	△112,571
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,350	12,878
その他の包括利益合計	3,350	12,878
四半期包括利益	△96,366	△99,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,366	△99,692

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△113,662	△139,092
減価償却費	36,016	68,934
のれん償却額	32,313	32,313
株式報酬費用	4,466	3,134
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,973	—
工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	6,389
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△1,000
受取利息	△11	△6
保険解約返戻金	—	△1,434
支払利息	6,266	7,278
支払手数料	3,104	2,212
固定資産除却損	—	26,653
売上債権の増減額(△は増加)	385,000	491,002
棚卸資産の増減額(△は増加)	20,049	△57,920
仕入債務の増減額(△は減少)	△343,078	△381,584
契約負債の増減額(△は減少)	△32,065	104,395
未払消費税等の増減額(△は減少)	△136,727	46,819
その他	△256,165	△136,794
小計	△439,465	71,300
利息の受取額	11	6
利息の支払額	△6,153	△8,272
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△316,059	150,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	△761,666	213,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△172,769	△539,361
無形固定資産の取得による支出	△35,902	△6,299
敷金及び保証金の差入による支出	△12,247	△620
敷金及び保証金の回収による収入	—	103,956
その他	△3,679	△3,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,600	△445,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△300,000
長期借入れによる収入	150,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△106,801	△139,889
支払手数料の支払額	△3,854	△2,212
新株予約権の行使による株式の発行による収入	64	186
配当金の支払額	△50,184	△50,200
その他	△1,311	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	187,912	257,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,807	1,359
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△796,546	26,524
現金及び現金同等物の期首残高	2,138,161	1,495,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,341,615	1,522,159

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、デザイン事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。